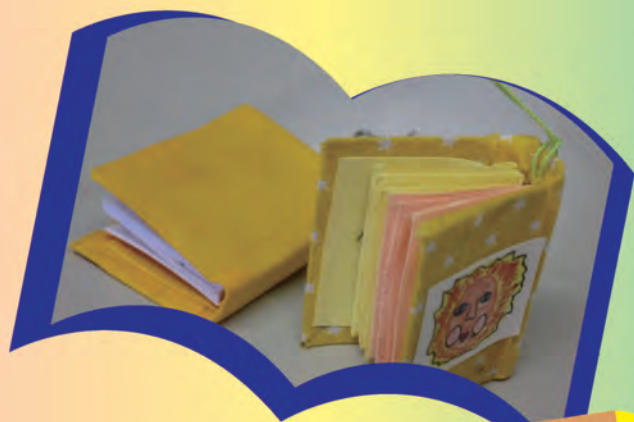


創る遊び



クレヨン



むぎむぎふうせんを作ろう！



施設名	香美町立香住児童館		
住所	〒669-6545 美方郡香美町香住区森 31-1	ホームページ	http://www.town.mikata-kami.lg.jp/
対象年齢等	1歳～5歳までの親子 6歳～小学6年生のこども	TEL : 0796-39-1507	FAX:0796-39-1507
準備物	風船（9インチ）・じょうご・紙コップの中に適量の小麦粉を入れたもの 大きじのスプーン・枝の長いプラスチックのスプーン・油性カラーマジック 何色かの毛糸・ハサミ・新聞紙		

（展 開）

- ① 好きな色の風船を選び、膨らませては空気を抜く作業を3回程行い風船を緩める。
- ② じょうごに風船の口を挟み新聞紙の上で、じょうごの中に紙コップから大きじ1の小麦粉を入れ、じょうごをトントンと叩きながら小麦粉を風船の中に落としていく。
風船の口に小麦粉が詰まって中に落ちない場合は、柄の長いスプーンを利用して小麦粉を風船の中に落としていく
※ この作業を風船がある程度小麦粉で膨らむ程度まで入れる
- ③ 風船の口の部分に小麦粉が詰まっている場合は、口の部分を持って風船の中に振り落とすか、小麦粉が入っている紙コップのなかに戻すかどちらかを行ってから口をしっかりと結ぶ。
- ④ 風船の口の部分が上になるように、油性カラーマジックで顔を描く。
- ⑤ 好きな色の毛糸を3つ選び、三つ編みを作る。
- ⑥ 三つ編みをした毛糸を、風船の口を結んだあたりに結わえ付けて完成。



（感想）

握った感触がとても大好評で、顔や髪型も個性溢れる作品に仕上がったと思う。
風船を握ると顔の表情が変わってくるので、その変化に楽しんでいるこどもの姿が見られた。身近なもので作れるということも知ることができ、家に帰ってからすぐに作ったということももいた。

《ワンポイントアドバイス》

じょうごの中に小麦粉を入れる量は、大きじ1杯以上入れると風船の中に入りにくいので、時間はかかるがじっくりと作業を行う。

ピーヒャラドン！を作って遊ぼう



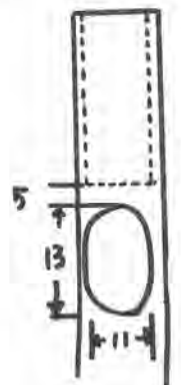
施設名	兵庫県立こどもの館		
住所	〒671-2233 姫路市太市中 915-49	ホームページ	http://www.kodomonoyakata.jp/
対象年齢等	親子または小学生～	TEL:079-267-1153	FAX:079-266-4632
材料	笛：塩化ビニール製水道管（口径 13 mm）30 cm 程度・丸棒内径にあわせて 7 cm 1 本 太鼓：A4 クリアファイル 1 枚・荷造りひも 90 cm 8 本・ポリゴミバケツ 1 個 ワイヤ鍋しき・白い布ガムテープ		
準備物	油性ペン・紙やすり・はさみ・パンチ・ドリル		

（１）笛を作る

①水道管パイプに、吹き口、指穴をドリルで開ける。

指穴は直径 6mm、吹き口は 13mm × 11mm の楕円を、子どもの指と口が無理なく置ける所に印をつけ、パイプが動かないように固定してドリルで穴をあける。

（今回は、音階を気にしないので穴をあける間隔の寸法は気にしない。）



② 吹き口の面取りをする。



③細い木を削って栓を作る。吹き口の 4～6mm のところに栓が来るようにつめて切り落とし頭部が丸くなるように紙やすりでよく磨く。

④紙やすりで、水道管パイプ全体の樹脂加工をはがしていく。（絵を書きやすくするため。）

⑤全体に、つるつるしなくなれば、固く絞った布で粉を取り、絵を油性ペンで描いてできあがり。

《ワンポイントアドバイス》

管尻を右側にして吹き口に口びるを当てて吹く。口びるを頬の方に引き寄せるようにして、口びるのすき間をうすくし、エッジに向かって息をだす。

細い息は、高い音、ゆったりと広げた息は低めの音になる。

口を「ウ」の形にして少しずつとがらせていって、音の出るところを探る。



(2) 太鼓を作る



①クリアファイルの閉じ目を開き、ゴミ箱の直径より、5 cm大きな円を切る。

②クリアファイルを八等分に割り、外周から1 cmずつ印をつけパンチで穴をあける。

③ポリゴミバケツの横の部分に、油性ペンで絵を描く。

④クリアファイルの裏面に絵を描く。

⑤クリアファイルの穴に輪にしたひもを通しワイヤー鍋敷きに、くくっていく。対角線上にゆっくりと閉めていく。

⑥白い布ガムテープをクリアファイルの耳に添うように、ポリゴミバケツを横にしてまわりにはって完成。

しっかりと、緩みのないことを確認して、布ガムテープで固定していく。

※クリアファイルのほりが弱いとぼやけた音になり、きつすぎるとクリアファイルがさけていくので、少しゆとりをもってはる。

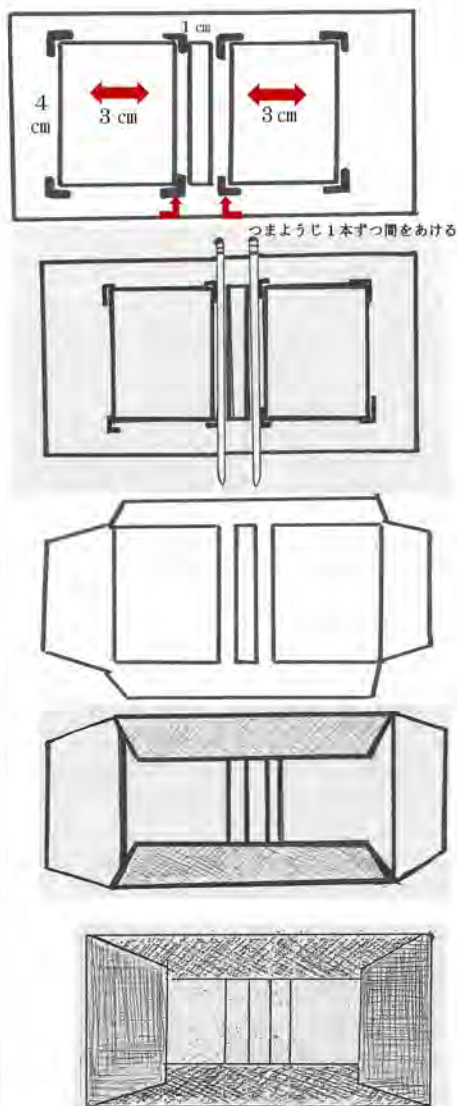


ミニミニ絵本をつくろう



施設名	兵庫県立こどもの館		
住所	〒671-2233 姫路市太市中 915-49	ホームページ	http://www.kodomonoyakata.jp/
対象年齢等	親子または小学生～	TEL:079-267-1153	FAX:079-266-4632
材料	表紙用布 11 cm×6 cm 表紙用厚紙 3 cm×4 cm 2枚・1 cm×4 cm 1枚 白画用紙 6 cm×11 cm 10枚・みかえし用色画用紙 6 cm×11 cm 2枚 ストラップ×1		
準備物	のり・はさみ・カッター・千枚通し・つまようじ・クリップ		

(1) 表紙をつくる。



①布の上に表紙用の厚紙をおき、鉛筆で4すみの型をとる。

※背中と表紙の開きをよくするために付いている溝状のすじをなくさないようにする。つまようじをはさんで並べるとしやすい。

②型をとった布のかどをはさみで切り取る。

③厚紙に、うすくのりをつける。

④厚紙をまきこむように貼る。上下を先に貼る。
貼れたら、左右も貼る。

ここままで、一度のりが乾くのを待つ。



(2) 中紙をつくる。

- ① 10枚の白画用紙を半分に折る。2枚のみかえし用色画用紙も半分に折る。折った紙の「わ」の部分をきれいにそろえて一枚ずつのりをつけて上に重ねてつんでいく。
- ※中紙を最後の仕上げよりも大きく準備するのは、のりづけの時にゆがみやずれができるため、仕上げに三方を裁ち落として、化粧裁ちする余裕をつけている。
- ②みかえしの紙は中紙の一番下といちばん上になるようにする。色のついたものを見かえしにするとわかりやすい。クリップで仮どめして乾くのを待つ。

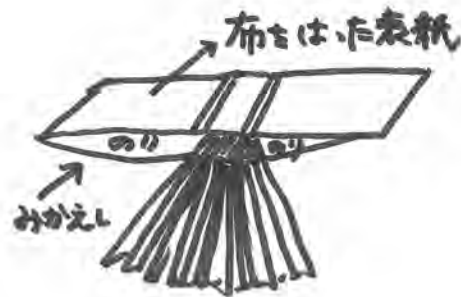


(3) 表紙と見かえし用色紙を貼りつける。

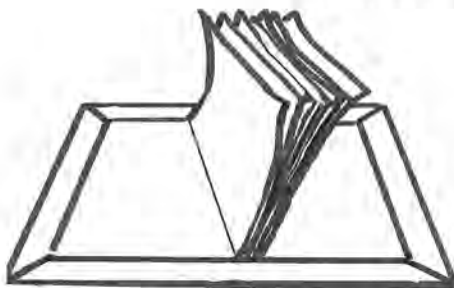
- ①かわいた表紙にストラップを通す。
(穴あけは千枚通しで外から穴をあけてさしこむ。)



- ②中紙の輪になった部分の例に、3 cm x 4 cmの大きさに線を引く。
(カッターでゆっくりなぞるように上から一枚一枚切っていく。)
- ③表紙に上下にみかえしのついた中紙を貼る。背表紙にはのりをつけないようにする。



のりが乾いて完成。



※製本の仕組みを学ぶことができる。